

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
佐野市	92045	4	平成20年度～ 平成22年度	平成20年度
活性化計画の区域				
佐野市全区域、				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	775ha	775ha	100.0%	

(コメント)

区域の全耕作放棄地の実態を調査し、「農地」と「非農用地」の振分けを行い、農地については、耕作放棄地解消計画を速やかに策定し、また、土地所有者への指導や認定農業者への利用集積を行い、その結果、担い手への利用集積率は、目標値に対して1.6%増加した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
遊休農地解消支援	耕作放棄地全体調査及び調査説明会の実施		佐野市農業委員会
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
佐野市	H20	H20	
事業の効果			
耕作放棄地全体調査を行い、土地所有者に通知したことにより、耕作放棄地が解消した。その結果、担い手への農地集積率が向上した。			

3 総合評価

(コメント)

今後とも、市、農業委員会、その他関係団体と連携し農地パトロール(利用状況調査)を実施することで、遊休農地の解消と発生防止に努めるとともに、農地の利用集積を進め、地域農業の振興を図る。

4 第三者の意見

(コメント)

遊休農地対策は、現地調査により実態把握、所有者・借り手の意向把握等が重要なポイントとなる。市では、農家への説明会を開催し、遊休農地解消の必要性・現地調査の実施等を周知し、解消・営農活動、農地の貸借等を推進している。

遊休農地の解消を図り、農地の有効利用を図る活動として効果的であり、継続することが必要と思われる。